

総合知創出科学専攻の教育方針

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）

総合知の社会展開に貢献できる人材となるために、所定の期間在学し、かつ所定の単位を修得した上で、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格することを課す。

その成果として、本専攻が掲げる人材養成目的及び金沢大学大学院(グローバル)スタンダード（KUGS）を踏まえ、以下に掲げる学修成果を達成した学生に「修士（学術）」の学位を授与する。

1. 未来課題の探索や多様な知の集積によりソリューションを発想できる能力
2. 持続可能な未来を描き、デジタル社会の形成に向けて柔軟性・実効性あるプランを提案できる能力
3. 文理融合やデジタルコンピテンスの動向を知り、総合知で着実にイノベーションを進展できる能力
4. 国や組織を超えて多様な背景や知識を持つ他者と協働し、総合知を構想や計画の推進に展開できる能力

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）

修了時に学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げる能力を修得できるよう、文理融合から総合知を広域的に見据えて体系的で網羅型の教育課程を編成する。「広い視野と精深な学識を有して社会の変容を的確に見据え、多様な知を集積して総合知の創出を探求し、人間や社会の総合的理解及び課題解決に資する総合知の社会展開に貢献できる人材」を養成するため、以下の授業科目群を配置するとともに、志向に応じた単位修得に資する自主選択枠を設定する。

1. 金沢大学大学院(グローバル)スタンダードを踏まえ、知見の深化により課題解決力を培うG S 基盤科目
2. 3つの学修コアで、基盤的な学際性を涵養して多様な知の理解や融合を進展させる専門基盤科目
3. 社会との往還を注視し、総合知の創出に資する実践や知見を積層化させる総合知積層科目
4. 幅広い総合性の上に基盤的な国際性を備え、知を解析して学問や産業に展開する総合知展開科目

アドミッション・ポリシー（入学者受入れ方針）

学士課程等で修得してきた分野の基盤的な専門知識に加え、あらゆる分野の知見の総合的な活用に関心を有し、多様な知を理解・融合して総合知の社会展開に貢献したい者を受け入れる。